

2025. 8. 27

北九州市教職員組合にゅうす



## 「8・6平和のつどい」開催される！その5

テーマ **「あれから80年 現在、そしてこれから…～いま私たちにできることは～」**

参加者からのメッセージのつづきです。

○児童館行事で参加。2 回目の平和のつどい参加になります。児童館の子どもたちと一緒に参加させていただきました。未来を担う子どもたちが戦争の恐ろしさ、平和の大切さに少しでも気づいてくれたらと思います。また、来年も是非8・6 平和のつどいに子どもたちと参加させていただきたいと思います。素敵な時間をありがとうございました。

(40代の参加者からのメッセージ)



○久しぶりに参加することができました。以前よりも展示やポスターが増え、とても考えさせられるものがありました。来年は8月9日と聞いたので、また来年も来たいです。(40代の参加者からのメッセージ)



○2 回目の参加です。昨年の参加で戦争について学び、親子で長崎、広島で学んできましたが、今回このつどいをきっかけに日本の加害者側のことを知り、子どもにとって更に視野、考え方が広がったようです。ありがとうございました。(40代の参加者からのメッセージ)

○終戦 80 年、沖縄、広島、長崎他、戦争の悲惨さを今もなお引きずっています。沖縄はその戦争の弊害が今もなお続いています。米軍基地による様々な問題、基地の見返りに経済に関してお金をちらつかせる政府、長崎、沖縄の人たちはこれ(経済と平和の心)により分断が行われている状態です。平和のつどいにより戦争の行われない平和な社会が訪れるとよいと思います。とても素晴らしい、心にくるつどいでした。ありがとうございました。(40代の参加者からのメッセージ)



### 【引野中合唱部エピソード】

#### ・合唱の選曲について

平和のつどいの選曲は、テーマから外れないこととエンディングの「ヒロシマの有る国で」につないでいくまでの流れを考えながら行うので、毎年時間がかかります。今年も何にしようかという迷いました。合唱曲の中には平和を願いしっかりと訴える曲がいろいろありますが、ステージの最後だからこそ、難しい曲やあまり皆さんが知らないような曲よりも、知っていて親しみがもてる曲の方がいいよね…と考えて選曲します。今年は「見上げてごらん夜の星を」と「地球の仲間」を選びました。どちらも昭和の名曲です。ささやかな日常を大切にできる世界が壊れないようにすること、そして自国ファーストと言って自分を優先するのではなく、それぞれの違いを認めあって手をつないでいける世界をつくらせていけるようにすることを願う気持ちを2曲で表現しようと思いました。まったく性格の違う2曲でしたが、心にしみるメロディーで思いを伝える曲と軽快なリズムに乗って元気をくれる曲を生徒たちは精一杯歌いました。会場からの大きな拍手は、がんばった生徒たちに何よりも嬉しいご褒美でした。平和のつどいは、「音楽っていいな!」「歌えるって幸せだな!」と何度も思わせてくれる場所です。毎年出演させていただいていることに感謝します。

#### ・賛助出演の高校生について

引野中として平和のつどいに参加するのは今年で4年目です。2年目からは、中学生にプラスして数人の高校生も参加してくれるようになりました。今年4名の高校生が賛助出演してくれました。どの高校生も合唱部の卒業生で、平和のつどいで歌ったことが忘れられず、歌いにやってきます。このつどいがつくってくれた生徒たちの絆です。引野中の合唱部にとって平和のつどいはとても大事なものになっています。「ヒロシマの有る国で」を一生懸命歌う生徒たちが誇らしいです。

NO.27 につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください!

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

